

令和5年度 第2回 荻田西コミュニティハウス委員会議事録

- ◆ 日時 令和6年3月17日(日)午前10時～11時30分
- ◆ 場所 荻田西コミュニティハウス 大会議室
- ◆ 出席 委員11名(3名欠席)
公益社団法人横浜市民施設協会 事務局長
荻田西コミュニティハウス 館長

開会 荻田西コミュニティハウス 館長
挨拶

荻田西コミュニティハウス委員会 会長

この委員会は、荻田西コミュニティハウスの運営について、事務局の方から令和5年度の活動報告を聞き、参加している委員の皆様からご意見をいただく場である。委員の皆様のご協力を是非お願いしたい。

公益社団法人 横浜市民施設協会 事務局次長

荻田西コミュニティハウスは、地域の皆様に日頃より定期的にご利用いただいております、それが最大の特徴だと思っている。荻田西コミュニティハウスをさらに良くするために、今日は皆様のご意見を伺いたい。どうぞよろしくお願いいたします。

議事

1 荻田西コミュニティハウスからの報告事項について

- (1) 令和5年度の利用状況(2月分まで) → 資料1～4に沿って 館長より説明
 - ・ 団体利用 → 4月は竹フェスのイベント開催で人数が多くなっているが、コロナも収束し、様々な場所に外出できるようになったため、昨年度より利用人数が減っている月が多い。コロナ禍以降活動停止や、高齢化で活動ができなくなった団体が増えたことも影響。
 - ・ 部屋稼働率 → 午前、夜間は昨年度よりアップし、午後①②は昨年度よりダウンした。
 - ・ 個人利用 → コロナ禍以降、図書利用の方が増え、個人利用者数は昨年度よりアップしている。図書貸出数も、図書スタンプカード発行の効果もあり、アップしている。
- (2) 令和5年度の「荻田西憩いの広場」利用状況(2月分まで) → 資料5に基づき館長より説明
 - ・ R5年度の利用実績 → 前半は猛暑の影響で昨年度より稼働率はダウン。後半はアップ。利用者数は、竹フェスや獅子舞などの自主事業での利用もあり、2000人を超えた。
- (3) 令和5年度 自主事業報告 → 資料6に基づき館長より説明
 - ・ 今年度はコロナも収束し、声を出す英会話や大人のお話会、歌のコンサートや歌声広場的なものを開催。またキッチンを利用した、珈琲の淹れ方講座やコーヒー販売も行った。
 - ・ ナイト講座は、ヨガ、太極拳のほか、新たにボクササイズを開催。
 - ・ 地域やフィリアとのコラボ事業、利用者に講師をお願いしたクラフト講座等を開催。
- (4) 令和5年度 お客様アンケートの結果について → 資料7、8に沿って館長より説明
 - ・ 昨年度とほぼ同じ結果だが、荻田西憩いの広場の認知や利用者数はアップしている。
 - ・ ご意見の回答は、施設としての考え方の欄に記載しているとおり。

ご意見

30代ぐらいの働いている方で、地区センターやコミュニティハウス、ケアプラザなど、何も知らないという人もいます。その様な人達のために、自主事業で何かできないか。

館長

働いている方々向けだと、やはり夜間の講座になるが、コミハの館長の勤務は9時～17時のため、夜間の講座を増やすことはなかなか難しい。

ご意見

夜間の利用状況は、他の施設と比べるとどうなのか。多い方なのか。

館長

夜間の時間帯は、昼間は働いている方の利用が結構あるので、どの施設も、どちらかといえば、午後②の時間帯(15時～18時)の利用の方が少ない。

荏田西コミハは、数年前までは午後②の時間帯より、かなり夜間の時間帯の利用が低く、夜間の自主事業を始めたが、現在では夜間の利用率も随分高くなってきた。

ご意見

自主事業でAEDの取り扱い講座を加えてもらうことはできないか。コミハでスタッフ向けに消防署の方を招いて研修を行っているが、そこに一般の方も入れて、行ってもらいたい。

館長

コミハのAED研修は休館日でないと全員が揃わないため、休館日に行っている。

休館日に行うのは難しいので、スタッフ研修時ではなく別の日に企画するのならば可能だが、どれだけ需要があるのかわからない。機会があれば検討したい。

ご意見

稼働率も高く、自主事業もこれだけ多く行い、一体どこまで目指すべきなのか。

1人勤務体制など制約も多い中で、これだけ行うのは無理が出てくるので、もっと余裕を持って良いのではないか。

館長

(5)の「令和6年度の取り組みについて」を含めてお話ししたい。

荏田西コミハには3年間勤務させていただいたが、自分は今年度で異動となる。3年間で少しずつ自主事業等を増やしていったが、来年度は、新しい館長が着任するので、基本に戻り、地域の方々と一緒に、無理のないボリュームで運営していきたいと考えている。

事務局長より

他の施設と比べても、この人数で、特に子ども向けの自主事業をこれだけ多く行っている施設はない。スタッフの人数を増やしたいところだが、指定管理を取るときに、この人数でやると約束しているため、令和9年3月までは変更できない状況である。

また、指定管理料は5年間同額なのに、物価が高騰しているため財政が苦しく、参加費も今後は受益者負担の考え方で、もう少し参加者に負担していただくことになると思う。

ご意見

確かに、社会福祉協議会の方も、来年度は受益者負担をもう少し増やす方向なので、そのところは、来年度においては工夫が必要かもしれない。

荏田西コミハの実状を知ることも大事なこと。運営を見直すにあたり、こういう委員会で客観的に皆さんに現状を知ってもらった方がよい。

ご意見

自分の経験から、飲んだり食べたりすることで繋がりができると感じ、荏田西コミハにキッチンをつけてもらったので、是非たくさん利用してもらいたい。

ご意見

アンケート結果のご意見のところ、「子ども達が放任状態なので困る」というのは、どういうことなのか。

館長

小学生のグループがゲームをしていて、盛り上がっていることがあるが、子ども達の居場所づくりもコミハの大切な役割だと考えているので、余程騒がしい時にしか注意はしていない。静かに過ごされたい方々にとっては、それが放任だと思われるのではないか。

ご意見

自主事業報告のところ、自主事業の数が51あるので、単純計算だと7日に1回あることになる。やはりそれは大変なのではないかなと思う。

自主事業を、あれもこれもやってほしいとアンケートに書かれているが、それは自主事業が楽しかったからであって、開催する、しないに関係なく書いているのだと思う。その様に考えればよいのではないか。

館長

ありがとうございます。参加者の皆さんに喜んでもらえたからこそ、また企画して数が増えたところもあります。

閉会挨拶 荏田西コミュニティハウス委員会 副会長

どこの施設よりも、館長やスタッフに頑張っていただき、我々も快適に利用することができ、感謝している。少し早いですが、館長3年間お疲れ様でした。

館長

皆様からの貴重なご意見は、今後の運営に反映できるよう努めていきたい。多くの方々のご協力があり、3年間無事に勤務することができ感謝している。今まで本当にありがとうございました。

閉会 荏田西コミュニティハウス 館長